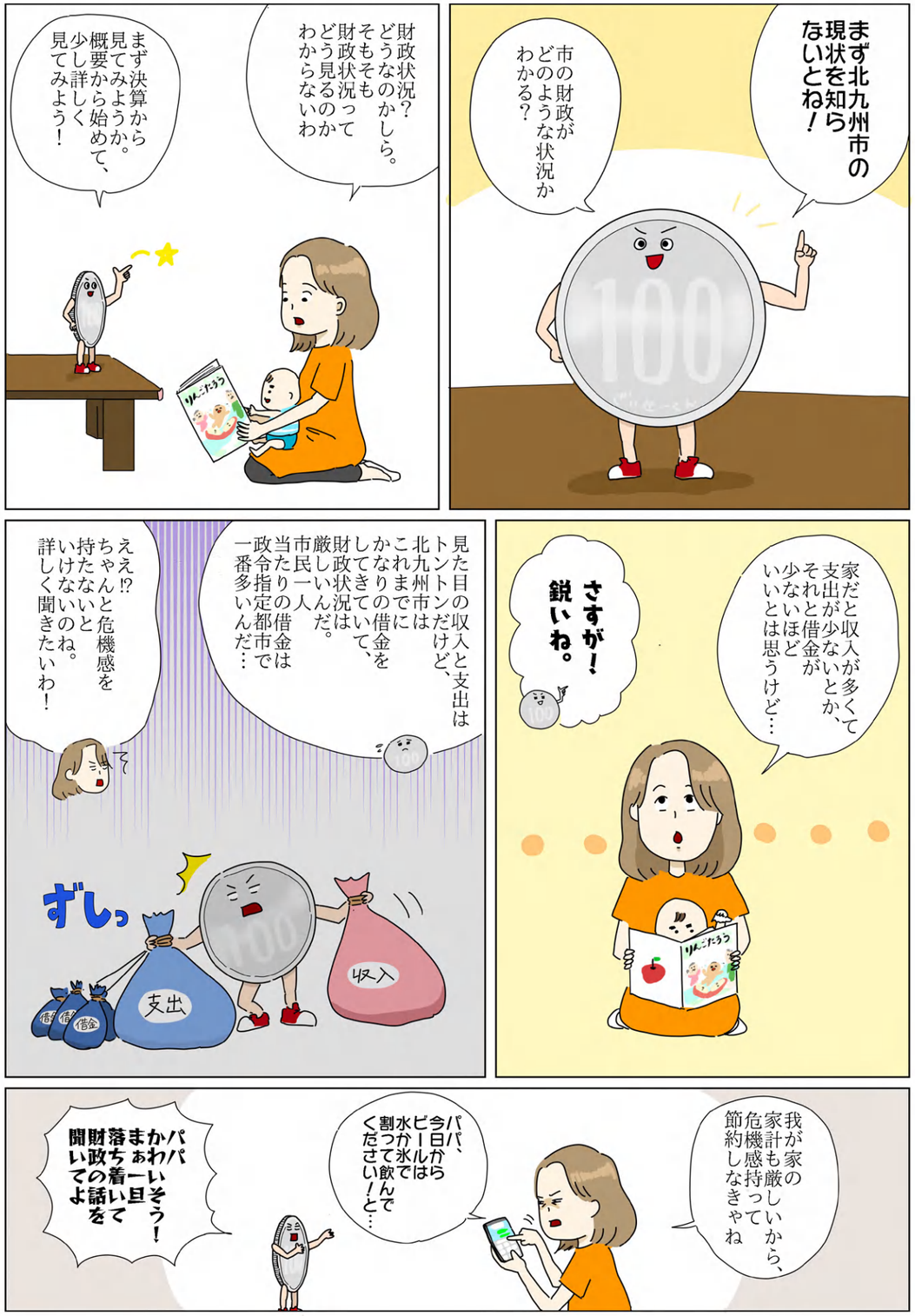
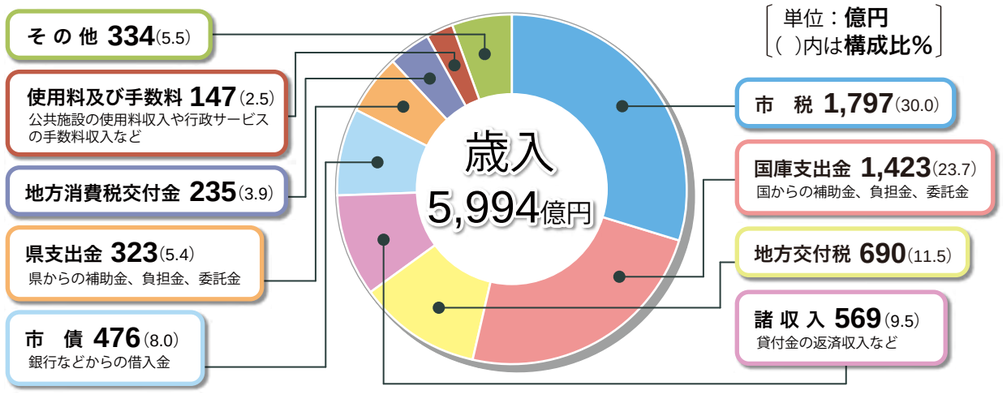
北九州市の財政状況について



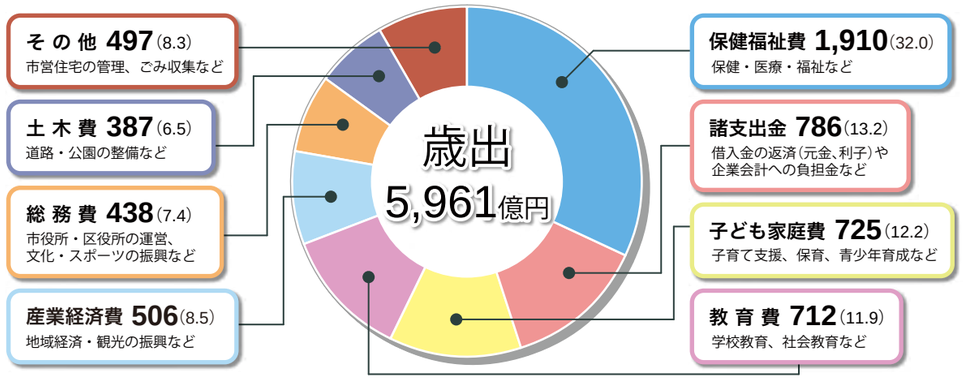
令和4年度決算（一般会計）

歳入歳出決算規模：**歳入5,994億円 歳出5,961億円**　**実質収支**：**16億28百万円**の黒字

歳入には、市税、地方交付税、国庫支出金、市債などがあります。
令和4年度は、新型コロナの影響からの回復等により、過去最高額となった市税の割合が最も大きく30.0%、次いで国庫支出金が23.7%を占めています。



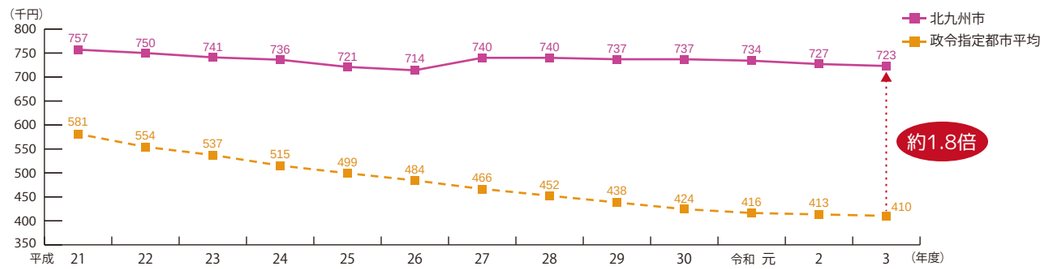
歳出では、保健福祉費（高齢者や障害者に対する福祉サービス、生活保護、医療保険事業への支援等）が最も大きく32.0%を占めています。
続いて、諸支出金（借入金の返済など）が13.2%、子ども家庭費（保育所の運営や子ども医療の助成など子育て環境の充実）が12.2%、教育費（学校の運営や整備など教育の充実）が11.9%を占めています。



財政ひとくちメモ　【一般会計】　福祉・教育・道路・公園の整備、ごみ収集など、主に税金を使って事業を行う市の基本的な会計です。
【実質収支】　歳入決算総額から歳出決算総額を差引いた額から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額です。

市民一人当たりの市債（市の借金）残高の推移（普通会計/臨時財政対策債を除く）

市民一人当たりの市債残高は、他の政令指定都市は大幅に減少していますが、本市はあまり減少していません。
令和3年度は、**72万3千円**で**政令指定都市の中で最も高く**、政令指定都市平均の**約1.8倍**となっています。



財政ひとくちメモ　【普通会計】　一般会計と特別会計（公営企業会計等を除く）を合算し、会計間の重複額等を控除したものです。地方公共団体間の比較や時系列比較が可能となるように、地方財政統計上、統一的に用いられる会計区分です。

北九州市の財政状況について